別紙

# 環境基本計画改定の基本的な考え方

H18 (2005) | H23 (2010) | H28 (2016) | H32 (2020) | H37 (2025)

## はばたけ未来へ！　京プラン

（計画期間　平成23～32年度）

京都の未来像＞　地球環境にくらしが豊かに調和する「環境共生と低炭素のまち・京都」

重点戦略＞　市民ぐるみで，くらしやまちの変化を実現する　「低炭素・循環型まちづくり戦略」

**・環境にやさしい都市づくり　・再生可能エネルギーの拡大，ごみ減量　・低炭素時代のものづくり産業の創出**

## 次期 京都市基本計画

（計画期間　平成33年度～）

地球温暖化対策計画
「2030年度の6つの低炭素社会像」

京都ビジョン2040
「価値創造都市・京都」

京プラン 実施計画
（計画期間　平成24～27年度）

京プラン 次期実施計画
（計画期間　平成28～32年度）

連動して策定

関連部分について，改定 京都市環境基本計画の前半5年間における個別施策を示すものと位置付け

## 京の環境共生推進基本計画（現行計画）

（計画期間　平成18～27年度）

太陽光発電システム助成件数7倍に拡大（H20→H25）

オール京都体制でのグリーンイノベーションの創出・振興

エネルギー政策の転換
分散型エネルギー，ICTによるスマート社会，水素社会，バイオマス産業

自動車分担率の減少，市バス・地下鉄旅客数の着実な増加

省エネ・節電スタイル「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録

COP21。温暖化対策2020以降の国際枠組みへ

本市施策の進捗，国内外の環境保全・エネルギー政策の動向

ごみの総量をピーク時から42%削減(H12→H25)　2R・分別を更に進めごみ半減へ

アジア諸都市との連携・協働による地球環境保全

2020年東京オリンピック・パラリンピック。観光地トイレ充実など受入れ環境の整備

全国に類を見ない景観政策の推進

世界が京都のまちのきれいさ，清潔さに高い評価

南部CC第二工場建替え。世界最先端の楽しく学べる環境学習施設を整備

## 改定 京都市環境基本計画

（計画期間　平成28～37年度）

現行計画との継続性も重視しつつ，環境の保全に関する施策を概括的に定めた，分かりやすくかつ骨太の，コンパクトな計画として策定

- ○長期的な目標　2050年を視野に入れつつ，平成37年度までを計画期間とする10年間の目標
- ○施策の大綱　長期的目標の実現に向けた基本施策。個別施策は示さず，かつコンパクトな記述
- ○環境指標　客観数値，市民の実感度・認識度調査により，計画の進捗状況を点検・評価

（例）エネルギー消費量削減率／本市が受け入れるごみ量／環境関連施設の利用者数

（例）クルマにできるだけ頼らず生活しようと思っている／まちのきれいさ，清潔さが保たれている／ごみを出さないような買物，食生活を心がけている

## 各分野別計画

※主なもの

環境保全基準
（大気，水質，騒音等）

各分野別計画の下で，個別施策を推進

- 地球温暖化対策計画
- 循環型社会推進基本計画
- 生物多様性プラン
- グリーン産業振興ビジョン
- 都市計画マスタープラン
- 「歩くまち・京都」総合交通戦略
- 緑の基本計画
- 農林行政基本方針